

サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づいたこと、聞いたことなど、お伝えしたいと思います。何かお役に立てれば嬉しいです。

先月の「たにぐちだより」は、締切りに間に合わずお休みさせて頂きました。

さて、夏休みですが、長野県の北アルプスにある八方池にトレッキングに行ってきました。大糸線白馬駅にある八方尾根スキー場のゴンドラとリフト2台を乗り継ぎ、徒歩約1時間30分のコースです。朝7時30分にゴンドラに乗り、八方池に着いたのは9時30分、着いたときは、辺り一面、雲に包まれていたのですが、雲が切れた瞬間、正面に北アルプスの山々が出現。「わぁー」と言う歓声が…感動でした。道の駅、キャンプ場で二泊した帰り道、NHK朝ドラ「おひさま」の



舞台、道祖神が見守る安曇野ののどかな山園風景の中、車を走らせ帰りました。



先日、亀山先生の勉強会で吉田松陰について学びました。松陰は、幕末動乱期、後に明治維新を打ち立てることになる高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文など多数の門下生を輩出させ、理想の教育者として今も語り継がれています。松陰についてはご存知の方も多いかと思いますが、ご紹介させていただきます。

●辞世の句
「身はたとひ 武蔵の野辺に 朽ちぬとも 留め置かまし 大和魂」
訳) 私は安政の大獄で、この関東の地で処刑される。しかし、私のこの肉体は滅んだとしても「志」は肉体と共に滅びることなくこの世に残るのだ！
この句は彼の最期の著書となった「留心録」の冒頭に記され、松陰の無念さと同時に、尚も自分が倒れても、弟子たちは必ず革命を起こし、新たな日本を創ってくれるだろう、という期待と願いを込めています。
彼は最期の獄で取り調べに対しても一切弁解をしなかったばかりか、とうとう自分の理想について述べ始めた。おそらくここでそのようなことをしなければ彼は遠島(島流し)程度で済んだといわれています。彼もそのことはわかっていたはずですが。



●獄中から高杉晋作に送った手紙の一文です。
「世に身、生きて心死する者あり。身亡びて魂存する者あり」

訳) この世の中には、肉体は生きていても志のない、心のない死んでいるものが大勢いる。肉体は滅んでも、志が世の中に残る者がいる。松陰はそういう生き方こそ尊いものであると晋作に伝えたかったのです。さらに晋作に、今、死んでも自分の名は永久に残るという自信があれば、いつでも死ぬことである。しかし、生きていれば必ず大事業ができるという自信があるのなら絶対に生きるべきだと。

●「親思ふところにまさる親ごころけふの音づれ何ときくらん」

訳) 私は親を愛しています。しかし、それ以上に親は私を愛してくれている。今日、私が処刑されたことを知ったならば、どんな気持ちでその知らせを聞くのだろうか。私はそのことを想うと…。親不孝な私を許してくれますか？(お父さん、お母さん…。)

■自分は師ではない。君達と共に学ぶ学友だ。

■門人達を一様、画一的に見ない。一人一人にのめり込み、あくまでも相手の立場に立って、こちらの教え方を変えて行く。時間割は組まないで、いつでも弟子の都合に合わせて講義を行なった。

■相手に合わせて考え、良いところを引き出して伸ばした。

■学問とは、今生きている人間が向き合っている課題と無縁であってはならない。毎日起こっている事件を教材にしていた。

■松陰は、最後の最後まで「私」というものがなかった。公に殉じた。

■誠意さえ尽くせば必ず周囲の者の理解が得られる

■相手が取り違えたり、誤解して自分の言ったことをまったく見当違いな受け止め方をしたのは、やはりこちらが悪いのだ。

■教化より感化の大切さ

十歳までの躰を大切に。男女を問わず、母親から教えるを受けることが多い。言語ではなく、正しい姿、動作を持って感じさせるようにすることが大切。

■良いことはどんなに苦しくても辛くてもやり抜く。やってはいけないことは、それが自分にとってどんなに好ましいことであってもやらない。社会人としての基礎的な倫理観を十歳までの幼少の間に身につけさせることが大切。

志を貫き、死をも恐れず純粹に生きた松陰の人生から、多くのことを学びました。少しでも実践していきたいものです。

「大」を疑え。「小」を貫け。

桜井章一、鍵山秀三郎共著から、まえがきをご紹介します。



「まえがき」にかえて

桜井章一会長のこと

鍵山秀三郎

私は麻雀というものをまったく知りません。かつて兄が麻雀に異常に凝っていて、身体がそう丈夫でもないのに、麻雀をやると徹夜して無理をしていたわけです。そういうこともあって、麻雀というものはあまりいい印象をもっていませんでした。

ところが、桜井会長の著作を読ませていただいているうちに、私は麻雀に対してとんでもない見方をしてきたなと思うようになりました。

桜井会長は、麻雀にも、いい麻雀と悪い麻雀があるということです。本当にそのとおりだと思いました。

何をやるにしても、そこには人としてやっていいやり方と、人として許されないやり方があるのです。そんなことを、桜井会長は麻雀を通じて若い人たちに教えているのでした。

実際に、お会いしてみたら、本で読んでいた以上の「人間の幅」というものが、桜井会長にはありました。有名な大学の先生などでも、人間の幅を感じさせるような人はほとんどいないものです。

人間の幅とは、その人の品性をあらわすものであり、その人が備えている尺度によって異なってくるものです。

善か悪かという尺度をいつも明確にもっている人には「気品」すら感じますし、いつも他者とくらべて有利か不利かといった卑しい尺度しかもたない人は、低い品性を周囲に撒き散らしているものです。

桜井会長を私が大好きなのは、人間の幅が無限に広く深いからです。

桜井会長のこの人間の幅というのは、たぶん桜井会長の生き方から出てくるものだと思います。まず、一切の権威というものを認めないし、決しておもねたりもしない。だから、生き方が常に潔い。そういう桜井会長の姿に、私はいつも共感します。

そしてもうひとつ、桜井会長と私の共通点があります。それは人の心の汚さを徹底して嫌うということです。

今回、そんな桜井会長と一緒に本を出せることになりました。おたがいの言葉は違っていても、あるいはまったく別のことがらについて述べていても、桜井会長と私の意見は不思議と重なっているはずですよ。

そんなことを楽しんでいただければ、幸いです。

※桜井章一

かつて「代打」といって20年間無敗という超絶的な強さで「雀鬼」の異名をとる。現役引退後、現在は麻雀を通して人間力を鍛えることを目的とする「雀鬼会」を主宰し、若者たちを指導している。

※鍵山秀三郎

自動車用品会社を創業し、「イエローハット」の取締役相談役までを務め、2010年に退社。現在は「日本を美しくす会」相談役として「凡事徹底」を信条に、国内のみならず海外にも出かけて「掃除」をする活動を通じ、生き方の基本を説いている。

厳しい時代だからこそ、有利か不利かでなく、善か悪かの尺度を持って仕事に取り組んで行きましょう。

テレビ番組 放送のお知らせ

10月3日(月)の22時より、NHKにて「ディーブ
ピープル スーパー美容師」という番組が放送
されます。川島文夫氏、新井唯夫氏、宮村浩
気氏の三氏による豪華競演です。大変興味深
い内容になっておりますので、ぜひご覧くださ
い。

放送日時: <NHK総合テレビ>

10月3日(月) 22:00~

番組名: ディーブピープル スーパー美容師

出演: 川島文夫氏・新井唯夫・宮村浩気氏

内容: トップクラスの人気と実力を誇るスーパ
ー美容師3人が登場。3人は、カットの技法と道
具へのこだわり、カウンセリングの流儀と客との
距離感などについて語り合う。そして、ボックス
ボブや紀香ヘアなど大流行のヘアスタイルを
生み出した舞台裏のエピソードも明らかにされ
る。さらに番組では「この秋、もっとも女性を輝
かせるヘアスタイル」をお題に、3人同時にカッ
トを行いヘアデザインを競作。スーパー美容師3
人が提案する最新のヘアスタイルを紹介する。
(※番組ホームページより)